

外断熱推進会議の平成21年活動報告(平成21年1月～12月)

特定非営利活動法人 外断熱推進会議

名称:「ホームタウン南大沢 団地丸ごと
外断熱改修」(第2回外壁大規模修繕)

施主:ホームタウン南大沢-4団地管理
組合(住環境委員会・横山美樹雄委員長)

設計・監理:アド構造設計株式会社

(外断熱設計:NPO法人外断熱推進会議)

施工:TOHO株式会社

工期:2009年9月着工～

2010年1月末竣工

規模:全10棟146戸

(PC造2種8棟、RC造1種2棟)

外壁面積:約9000㎡

改修内容:外壁、床下、開口部の断熱改修



外断熱改修中



外断熱改修後

http://sotodan-npo.org/blog/archives/2009/12/post_289.html

★2009年(1月～12月) 1年間の活動報告★

■1月9日(金) 理事懇談会

定例の理事懇談会が18名の出席で開催。

■1月9日(金) 新年互礼会

理事懇談会終了後、竹川理事長、伊藤公介議連会長出席の下、新年互礼会を開催。約60名の参加。



■1月30日(金) 外断熱通信第4号編集会議

第4号には平成21年度のNPO事業方針や計画について記載する。

予算的に厳しいが4月の刊行を目指す。

■2月19日(木) 環境・省エネ住宅政策を推進する議員連盟勉強会

環境・省エネ住宅政策を推進する議員連盟の勉強会が衆議院第1議員会館で開催された。

講演1.「建築物における省エネの可能性～欧州の経験から～」

(株)マグ フランソワ・ザビエ リエナル社長

講演2.「住宅の省エネルギー化に貢献する高断熱技術」

文部科学省 科学技術動向研究センター特別研究員 藤本博也

参加者は国会議員及び一般参加 約70名。



■2月19日(木) 会員全体会議

外断熱推進会議の活動を活性化するための会議を開催。25名参加。

●広報・講習委員会 委員長 : 宮坂幸伸専務理事

副委員長: 改正総一郎(東邦レオ(株))/河上末廣((株)紅梅組)

●技術・認証委員会 委員長 : 田中辰明副理事長

副委員長: 芝池英樹(京都工芸繊維大学)/宮原 博(三井住友建設(株))

●組織委員会 委員長 : 堀内正純事務局長

副委員長: 塩谷昭文(明光建商(株))/葩島一弘(ハイシマ工業(株))



■2月26日(木) 会員意見交換会

NPO 活動への意見や要望を聞くための意見交換会を開催。26名参加。



■3月8日(月) ENのISO 化解説

これまで検討してきた外断熱のEN規格の中で3件がISO(国際規格)になったのを機にこれまでWGが実施してきた経過についてまとめを行った。

■3月30日(月) ホームタウン南大沢 既存住宅・建築物省エネ改修緊急促進事業に採択

南大沢団地の断熱改修事業が国土交通省の既存住宅・建築物省エネ改修緊急促進事業に採択された。外断熱推進会議は外断熱改修設計に参加することになった。事業名は「ホームタウン南大沢団地丸ごと外断熱改修」でホームタウン南大沢中層団地管理組合が提案者。事業費は約2.7億円。(補助金は5,110万円で決定した)
この団地は平成18年年度全国都市再生モデル調査事業で外断熱推進会議が調査を実施した。

■4月2日(木) 全労済地域貢献助成金申請

全労済では毎年地域の人々が助け合って環境を守る活動、子供の健やかな育ちを支える活動を支援しており、環境分野と子供分野の二つの分野で助成金を公募している。NPOでは昨年「外断熱通信」を発行する主旨で応募したが不採択になった。本年度は「学術講演会」開催を通じて省エネや環境意識を啓蒙する主旨で応募した。助成申請金額は30万。審査結果は7月に通知される。(2009・7・2 不採択の通知受領)

■4月10日(土) 無暖房実験棟見学と北欧パッシブハウス視察報告会(北陸支部)

金沢工大で建設中の無暖房住宅(パッシブハウス)実験棟の見学会と講演会を開催。

■4月12日(土) 南大沢 外断熱改修勉強会

外断熱推進会議が招かれ、八王子市南大沢地区 ホームタウン南大沢-4において、団地管理組合員を対象とした外断熱改修勉強会を開催した。



■4月15日(水) 第4回学術講演会開催

早稲田大学名誉教授 工学博士 木村建一先生から「外断熱設計の経験」と題して木村先生の自宅ソーラーハウスを初め先生が関係されたソーラーハウスや外断熱住宅の実例を工法や特徴について詳しく報告された。

続いて「外断熱工法の健全な発展を目指して」のテーマで田中先生の司会で木村先生、田中(俊)先生、宇田川先生、黒木所長が参加しパネルディスカッションが行われた。約40名の参加。



■4月16日(木) 理事懇談会

定例の理事懇談会が開催され、収支報告や21年度の事業計画について審議された。予算面では少なくとも会費で管理費がペイできる財務であるべき。このためになにをすべきか、よく検討して欲しいとの意見がだされた。

理事懇談会終了後ナイスブライトピア多摩川現場見学会が開催され、モデルハウスの説明を受けた後多摩川の建設現場を見学した。20名の参加。



■4月21日(火) 三井物産環境基金2009年度活動助成申請

外断熱推進会議として「住宅のエネルギー消費削減に関する啓蒙活動」の件で「外断熱通信」発行を主旨に3年間で600万円の助成金を申請した。(不採択)

■4月24日(金) 外断熱懇話会総会及び外断熱マンション見学会



■5月6日(火)北海道支部会議(北海道支部)

石田支部長 藤本事務局長 今川氏 大橋氏 羽田氏 丹氏 本部より堀内事務局長の7名が参加して支部会議が開催された。本部より平成20年度の収支と1～3月までの活動について報告があり、石田支部長から旭川の現状について発言があった。

■5月12日(火)甲信越支部懇話会(甲信越支部)

甲信越支部の山下恭弘支部長(信州大学名誉教授)は外断熱普及に向けて堀内事務局長とクーラーさんを迎え意見交換会を行った。堀内事務局長からは「日本における外断熱の歴史と現況について」と題して報告が、クーラーさんからは海外と日本の建築の違いやエネルギーパスについて説明があった。山下先生からは駒ヶ根市に建設されたRC集合住宅の温熱測定結果について報告があった。参加者は10名であった。

■5月15日(金) 第19回関西セミナー(関西支部)

「21世紀は資源争奪の時代—持続可能・地方分権型社会構築を考える」と題して芦田譲(京都大学名誉教授)先生、「地中熱利用換気システムと熱損失係数」と題して本田善次郎氏(株)マーベックス)の講演があった。参加者約60名。

■5月16日(土) 八王子市南大沢地区 ホームタウン南大沢一4 外断熱設計打合せ

10棟 146世帯の公団分譲マンションの外断熱及び窓改修の設計・積算業務について打ち合わせをした。

■5月30日(土) エコタウン信州・茅野見学会(北陸支部)

北陸支部では昨年開催した「桜ハウス玉川」見学会の第2弾として一期工事が完成した「エコタウン茅野」の見学会を開催した。参加者14名。

■5月22日(金) 理事会

平成21年度理事会が開催され通常の報告後、財務体質の強化や新聞の広告について多くの意見が出された。

■5月22日(金) 総会

理事会終了後、平成21年度総会が開催され、各支部の活動報告や収支の改善について前向きな意見が出された。平成21年度の事業計画と予算は提案通り承認された。特に会員増強、会費収入が最大の問題であることが指摘された。



■6月14日(日) 八王子市南大沢地区 ホームタウン南大沢一4 外断熱設計打合せ

■6月15日(月)大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムへの参加(関西支部)

「大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム」というNPO団体は大阪府の環境局と協同で産・学・官・民の連携によるヒートアイランド対策技術の開発・普及啓発啓蒙を行っている。今は認証されていない外断熱システムをHITECの認証機関で認証していただくために外断熱会議はコンソーシアムへの参加(法人会費50,000円)を要請された。関西支部が活動の主体になるが本部と協同で参加していきたい。また、これに賛同する法人に会員になることを勧めている。

■6月15日(月)月刊リフォーム 6月号に「外断熱工法の海外事情と日本」が特集

本誌P12から83Pまで「外断熱工法の海外事情と日本」が特集された。タイトルは

- ①世界の外断熱事情(外断熱推進会議・堀内)
- ②ドイツにおける建物リフォームと外断熱の取り組み(お茶の水女子大学・田中氏)
- ③外断熱工法の湿気移動(お茶の水女子大学・柚木氏)
- ④ドイツのエネルギー証明書と省エネ住宅の動向について(クーラー・アンドレア)
- ⑤ドイツの外断熱工法と日本への適用事例(StoJapan)
- ⑥米国外断熱調査報告(宮原)
- ⑦欧米の湿式外断熱工法に学ぶ考え方(サンクビット・関口氏)
- ⑧水害から考えられたフルラインシステム(EIFS-J・桑原氏)
- ⑨ウッドブリーズ外断熱工法(高本コーポレーション・高



本氏)⑩繊維系乾式外断熱工法 奮戦記(ツヅキ・廣口氏)⑪外断熱の現状と今後への取り組み(テスク・丹氏)⑫建築物の外断熱改修事例(東邦レオ・改正氏) ⑬外断熱リニューアルで「省エネ、快適な環境」を実現(野原産業・尾形氏)⑭外断熱改修の事例紹介(綿半鋼機・宮下氏)14項目で執筆され貴重な報告になっている。

■6月16日(火)第一回 広報・講習委員会

第一回の広報・講習委員会が改正、河上、堀内、宮坂、田村の出席で開催された。外断熱通信第4号は広告が集まらなければ8頁を4頁に縮小して発行することもやむをえない。もっとHPを活用したい。

今年のEIPCセミナーは理事懇談会と同日に開催する。

■6月19日(火)内閣府へ事業報告提出

毎年提出を義務づけられているNPOの事業報告書(8部)を内閣府に提出した。20年度の事業経過(定款に定めた事業項目ごとの実績を記載する)や財務状況、委員名簿などがその内容である。

■6月19日(火)民主党住宅政策小委員会開催

民主党『次の内閣』ネクスト国土交通大臣 長浜博行 民主党住宅政策小委員会座長 前田武志

は参議院議員会館 第2会議室で(1)外断熱推進会議 堀内正純事務局長(2)お茶の水女子大学 田中辰明名誉教授(3)質疑応答の議題で勉強会を開催した。出席者は 前田武志参議院議員、中村哲治参議院議員、三日月大造衆議院議員、森本哲生衆議院議員など。

堀内事務局長は「新しいエネルギーを考える前にエネルギーを使わない建築を！」をテーマに講演しました。

主な内容は①政府の政策では、動力(照明・家電)や給湯用エネルギー対策が中心で、エコ照明・エコ家電・エコ給湯に目が奪われている。②断熱性能の悪い住宅は「ざる」のようなもので、いくら効率のよい設備や自然エネルギーを活用しても、劇的な(60~80%削減)省エネにはならない。③欧米では雇用対策として、外断熱工事が重要な役割を果たしている。④壁の断熱、窓の複層化、日射遮蔽(外付ブラインド)工事などは、地域に密着したグリーン産業として雇用と地場産業の創出に役立つ。⑤党の政策として、外断熱・高断熱・窓の改修などをマニフェストに加えていただきたいと訴えました。田中辰明先生は①ドイツにおけるエネルギーパスの現状②古い建物を外断熱改修して長く使うことの必要性について③ブルーノ・タウトの集合住宅について④最後に6月9日に有楽町の国際フォーラムで開催された、日独環境フォーラムにおけるマッティアス・マツハニックドイツ連邦共和国・環境・自然保護・原子炉安全省事務次官の特別講演の内容「太陽光発電、ヒートポンプの利用も大切であるが、まず省エネルギーを図ること、断熱が大切である。日本には断熱のしっかりした基準も無いのが残念である」を紹介した。

■6月21日(日) 八王子市南大沢地区 ホームタウン南大沢一4 外断熱設計打合せ

■6月25日 福岡セミナー(九州支部)

九州支部長・坂口剛彦氏の働きかけで、(社)九州住宅建設産業協会(九住協)の6月研修会が開催されました。このセミナーには九州のデベロッパーが20社ほど集まった。セミナー会場で、北九州で計画が進んでいる外断熱マンション計画の関係者から話がありました。テーマ1「福岡都市圏のマンション市場動向について」(株)リクルート九州支社 福岡・北九州マンションゼネラルマネージャー 太田 浩三 氏テーマ2「日本における外断熱の歴史と現状」NPO 法人 外断熱推進会議 事務局長 堀内 正純 氏。セミナー終了後、坂口支部長、中津留会員と今後の支部活動について話し合いました。



■7月3日(金)札幌セミナー(北海道支部)

平成21年度第1回の外断熱セミナーが開催された。「通気層と雨仕舞い」(石田先生)「八王子・旧公団MSの外断熱改修計画」(堀内)の2件が報告された。2009年度は1. 外断熱のディテール、2. 検証と情報公開 の2件を展開していくための検討会がなされた。



■7月17日(金)理事懇談会

会員20名の出席で定例の理事懇談会が開催された。大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアムへの参加は関西中心の活動になるが東京も協力していく。収支は非常に苦しいので収益事業を強化していかなければならない。

■7月17日(金)第二十三回 外断熱技術セミナー

外断熱メーカー及び施工会社10社による外断熱プレゼンテーションが開催された。民間企業が競合他社を含めたセミナーを企画することは不可能で、今企画は外断熱推進会議だからこそ立案できたと考えている。セミナーは外断熱推進会議堀内事務局長の司会で始まり、冒頭竹川忠芳理事長から挨拶があった。はじめに、外断熱推進会議事務局長・堀内正純より、『改正省エネルギーにより、省エネの措置の届出義務や住宅省エネラベル、長期優良住宅(2000年住宅)の普及の促進に関する法律により次世代省エネ基準(平成11年基準)が省エネ措置の基準となる。

しかし、そのレベルは、世界が求めている「温暖化効果ガスを80%以上削減する」というレベルからはあまりにも低いレベルである。欧州では、「…で、おたくの建物、どれぐらいエネルギーいるの?」と住宅の燃費を表示するエネルギーパス制度があり、住宅の売買や賃貸の際には住宅の省エネ性能が評価ポイントになる。外断熱推進会議は独自に、外断熱推進会議「外断熱建築推奨基準(2008)」決めている』と報告があった。

基調講演は、お茶の水女子大学名誉教授・田中辰明博士より「ドイツにおける建物リフォームと外断熱の取り組み」と題して行われた。会場からは、もっと話を聞きたいとの声があがった。続いて、外断熱工法メーカー及び外断熱施工会社10社による、外断熱工法のプレゼンテーションが行われた。参加した聴衆(役20名の参加者)にとって初めて聞く、外断熱工法の問題点<これまでの事故やクレーム、火災や浸水>とその対策、全国各地での建設されている外断熱施工現場の数々、外断熱の現状が余すことなく紹介された。

講演の内容:お茶の水女子大学 田中辰明博士 ~ドイツの建築家ブルーノ・タウト及び氏の作品の紹介を導入とし、ドイツのエネルギー政策まで広範な説明がなされた。

1. Sto Japan(株)「ドイツの外断熱工法と日本への適用事例」報告者 佐々木 隆 代表取締役
自社の湿式外断熱システムに加えて、ドイツ省エネ法、ドイツにおける湿式外断熱施工面積の変遷、断熱材厚さの推移等、ドイツにおける現状が伝えられた。また、国内の施工事例については、住宅だけでなく、教育施設、福祉施設、まちづくりなど多くの事例が紹介された。
2. サンクビット(株)「欧米の湿式外断熱工法に学ぶ考え方」報告者 関口高正 技術部長・営業支援グループ長
湿式外断熱の有効性に加えて、剥離、火災等の危険性の回避についての重要性、の観点のプレゼンテーションとなった。海外のショッキングな火災や剥離の資料の紹介とともに、その回避の具体策について詳細な説明がなされた。
3. EIFS-Japan(株)「水害から考えられたフルラインシステム(建築物総合一括外断熱システム)」報告者 葛西 望
現在のシステム開発のきっかけとなった不具合の事例が紹介された。防水に配慮したこのシステムについてメカニズ

ム、効果について詳細な説明がなされた。加えて、本社ビルを始めとする多くの施工事例が紹介された。

4. 高本コーポレーション(株)「火災に強く、安全な高耐久外断熱工法」報告者 高本修一 代表取締役
EPS(ビーズ法発泡ポリスチレン)のビーズ一粒一粒を不燃材と熱硬化樹脂でコーティングした断熱材を使うことで、強い耐火性と高い断熱性、耐水性をもつ外断熱工法との説明があった。
5. (株)ツヅキ 「繊維系外断熱工法奮戦記」報告者 廣口征男 外断熱事業推進室 室長
繊維系外断熱工法メーカーとして、材料サンプルを紹介しながら説明がおこなわれた。また、外断熱工法の利点や施工実績について映像を使用してわかり易く説明した。
6. (株)テスク「外断熱の現状と今後への取り組み」報告者 丹 征吉 代表取締役
冒頭、「日本のマンションにひそむ 史上最大のミステーク」(江本央他共著)を日本建築の考え方に大きな衝撃を与える一石となったと紹介し、自社開発のオリジナル外断熱工法について説明があった。
7. 東邦レオ(株)「建築物の外断熱改修事例」報告者 改正総一郎 外断熱事業部長
屋上緑化や外断熱改修の事例紹介やデータ紹介があった。また、地球温暖化と女性下着の変遷について面白おかしく解説し、会場を和ませた。
8. 野原産業(株)「外断熱リニューアルで「省エネ、快適な環境」を実現」報告者 尾崎泰治 課長
オリジナルの国産外断熱工法についての解説と多くの施工実績が紹介された。
9. 綿半鋼機(株)「外断熱改修事例の事例紹介」報告者 宮下義雄 EFE事業部長
慶長3年に創業した会社の歴史を紹介したあと、温熱シミュレーションや外断熱改修事例について説明がなされた。
10. (株)北洲「最新ドイツ外断熱情報2009. 6」報告者 津嶋一弥
2009年6月に実施された、ドイツ・アレスコ社の外断熱視察の報告が行われた。ドイツの外断熱新築及び改修現場やパッシブハウスの紹介があった。予定通り、17時には大きな拍手のなか閉会となった。会場でのアンケートには、次回のセミナーに対する希望と期待がこめられたコメントが寄せられた。セミナー終了後、同じフロアのレストラン・ニュートーキョー特別室において講師の皆様を囲んで懇親会が開催された。

なお、講演内容が記載された月刊リフォーム 6月号は外断熱推進会議でも販売している。

第二十三回外断熱技術セミナー DVD販売中！

□会員価格 3,000円(税込) □一般(非会員)価格 5,000円(税込)

http://sotodan-npo.org/blog/archives/2009/08/post_273.html



■8月11日(火)第二十回関西セミナー(関西支部)

「CASBEE ツール開発の最新動向と CASBEE すまい(戸建)の概要」について東京都市大学の坊垣先生が講演され、「住宅でも起きている過乾燥 一室内湿度調整法の提案」について大阪工大の佐藤真奈美先生が講演された。約60名の参加で盛況であった。

■8月20日(木) エネルギー証明書解説書入荷

ドイツ国内で多くの国民が手にして読んでいるハンス・ディーター・ヘグナー著「エネルギー証明書(Energieausweis)解説書」を当法人の会員であるクーラーアンドレアさんの翻訳により“外断熱叢書-1”として販売を開始した。外断熱推進会議の収益事業でもあり販売について積極的に応援願いたい。

【外断熱叢書-1】エネルギー証明書(Energieausweis)解説書

ハンス・ディーター・ヘグナー著 クーラー アンドレア訳

「ドイツ省エネ住宅の背景～エネルギーパスとは～」

定価 2,100円(税込) A5判 112頁

特定非営利活動法人 外断熱推進会議 刊



■8月25日(火) 第二回技術・認証委員会

この委員会では1. 第一回技術・認証委員会議事録の確認2. エネルギーパス解説書の出版 3. 外断熱建物推奨基準の認証制度4. 外断熱の防火基準検討会(仮称)5. 行政対策について議論された。

■8月31日(月) 大阪ヒートアイランド対策技術コンソーシアム(HITEC)への参加

大阪府においては、都市化の進行とエネルギー消費の増加に伴ってヒートアイランドが問題となってきた。HITEC は行政、民間事業者、大学、試験研究機関、環境NGO、NPOに広く呼びかけヒートアイランド対策技術の開発・普及、対策の実施と効果の検証などの事業を推進していくことになった。外断熱推進会議は建物の断熱化でヒートアイランド対策として効果があるという認識で会員となった。関西支部が活動の主体となるが会費の50,000円は本部ほか6社の負担で納入した。活動は2～3年となる。活動の実績は都度関西支部より報告願うことになる。

■9月4日(金) 外断熱懇話会セミナー

外断熱懇話会の事務局がナイス(株)となって初めての懇話会セミナーが「鶴見会館」で開催された。

講演内容と講師は、「日本でもエネルギーパスを」について(堀内正純)と「外断熱工法の温度環境について」(芝池英樹先生)約80名参加。



■9月9日(水)平成21年度 第2回「外断熱ENのISO化検討」WG委員会開催

今年度はEN13162(建築用断熱製品-工場製鉱物ウール製品-仕様)EN13163(建築用断熱製品-工場製発泡ポリスチレン製品-仕様)と外断熱の耐震対策の3件について検討調査することになった。このWGでは委員から出された意見を元に今後の進め方を検討した結果鉱物ウール製品や発泡ポリスチレン製品のJISを参考にしながら外断熱の仕様をまとめることとなった。

■9月14日(月)外断熱通信 第4号編集完了

発行が遅れていた外断熱通信 第4号は原稿が完了し割り付けに入った。最終校正を経て10月1日に5000部発行。

■9月18日(金)技術・認証委員会 専門部会

9月25日の第三回技術・認証委員会に先立って制度についての問題点や課題について整理した。

■9月25日(金)第三回技術・認証委員会

この委員会では1. 外断熱推建築認証制度の発足について2. 新政権発足後の対応について議論された。外断熱推建築認証制度については、要綱や申請要領について審議が行われ、いくつかの修正の上、この委員会では承認された。10月30日の理事懇談会で確認され11月1日よりスタートすることになる。

■9月29日(火)外断熱通信第4号発刊

外断熱通信 2009年秋第4号が完成し、5000部入荷した。公共機関や官庁、民間に約1300部配布した。配布に当たっては10月31日に開催される「外断熱と地球環境」セミナーのチラシを同封した。1部500円で販売中。

■10月19日(月)断熱建築制度政策委員会

新政権の「温暖化効果ガス1990年比25%削減」方針のなかで、外断熱工法や高断熱、断熱サッシ等の一層の普及、拡大を新政権の政策に反映させるための組織を創設。

●断熱建築制度政策委員会

委員長：宮坂幸伸専務理事

副委員長：桑原 章(EIFS-Japan 代表取締役)/松井一郎(千代田地所部長)

■10月29日(木)平成21年度第3回「外断熱ENのISO化検討」WG

EN13162(建築用断熱製品-工場製鉱物ウール製品-仕様)EN13163(建築用断熱製品-工場製発泡ポリスチレン製品-仕様)と外断熱の耐震対策の3件について検討調査することになった。関連のJISは存在するがEN13162およびEN13163を外断熱仕様と考えた時、どんな問題があるか改めて検討することになった。なお、耐震については関連の会社に考え方を伺うことでWGとしての見解をまとめることになった。

■10月30日(金)㈱紅梅組 本社ビル耐震+外断熱改修現場見学

(株)紅梅組 本社ビルは竣工後30年を経過し、従来であれば立替を検討すべきところであるがこのビルを耐震補強と断熱改修を施すことで省エネとともに建物寿命を延ばし今後も長きに亘って使用していくことになった。約20名参加。



■10月30日(金)理事懇談会

定例の理事懇談会が14:30分から開催された。特にNPO外断熱建築認証制度について意見が交わされた。また、新しく発足した「断熱建築制度政策委員会」についても説明され行政に対しての提言をまとめることになった。

■10月31日(土)セミナー 地球環境と外断熱

特定非営利活動法人外断熱推進会議と外断熱懇話会は共催で外断熱セミナー「地球環境と外断熱」を機械振興会館大ホールで開催した。セミナー外断熱推進会議の宮坂専務理事の司会で開会し冒頭、竹川理事長の挨拶ではNPOの設立の目的や外断熱建物の利点、本日のセミナーの目的、韓国でもエネルギーパスに近い取り組みがあること、などが紹介された。

まず、基調講演として「エネルギーパスと外断熱」と題してお茶の水女子大学の田中名誉教授が講演され、エネルギーパスとは床面積1m²当たり年間に使用するエネルギーをKWHで示す指標であることとその重要性について説明があり、ついでドイツの有名な建築家ブルーノ・タウトの功績や彼の設計した建物がユネスコ遺産に登録されたことなどの話があり、本年6月9日に開催された「日独環境フォーラム」では日本には断熱についてしっかりした基準が無いのが残念であると指摘された、などが紹介された。ついで講演1として国土交通省住宅生産課 企画専門官が「長期

優良住宅と住宅省エネラベル」について資料とパワーポイントで説明された。長期優良住宅とは住宅の寿命を延ばすための措置でその普及の促進に関する法律が本年6月4日に施行されたこと、住宅省エネラベルとは省エネ判断基準に基づいてその住宅が省エネ判断に適合していると判断されるとき住宅にラベルを表示することが出来、省エネ性の高い住宅を普及させるための制度であることが説明された。講演2として「外断熱からはじまるマンション選び」と題して堀内事務局長から講演があった。ここでは内、外断熱の差やまだ日本はほとんど内断熱の建物であること。日本とドイツの省エネレベルの違いやNPOが新しく定めた外断熱認証基準について説明がなされた。休憩後、司会が堀内事務局長 パネラーは田中名誉教授、クーラーアンドレア、明豊とナイスのマンションに住む住民を加えた5人のパネルディスカッションが行われた。初めにクーラーアンドレアさんから問題提起があり田中先生からはドイツの現状についてお話があり、住民Aさんから外断熱マンションに一年住んでみて冬の結露が無いこと、カビの発生がないこと、エアコンの使用回数が少なくなったこと、オール電化であるが前に住んでいた賃貸より高熱費は20%以上 節約になったことが紹介された。また、住民Bさんからは入居した当時は良さの感激は今では慣れてしまった。夏はエアコンをかけてもすぐ効く、夜切っても朝まで涼しい。テレビみたまま裸で寝ても風邪ひかない。親戚が来るとその良さを実感して帰ります。なぜもっと多く普及しないのか不思議に感じます。などの感想が披露された。開催日が土曜にもかかわらず約200名の参加で熱気溢れたセミナーであった。また、このセミナーに協賛を頂いた EIFS-JAPAN(株) (株)紅梅組サンクビット(株) 高本コーポレーション (株)ツツキ (株)テスク ショックジャパン(株) 東邦レオ(株) ナイス(株) 野原産業(株) 明豊エンタープライズ 綿半鋼機(株) 東鉄工業(株) (株)植木組の各社はホール入り口にブースを設置し参加者との情報交換も活発であった。時に新政権は「温暖化効果ガスを1990年比25%削減」を公約しこの時、このセミナーは時期を得た企画であった。



◆セミナー『地球環境と外断熱』DVD販売中！

- 外断熱推進会議会員価格 3,000円(税込)
- 一般(非会員)価格 5,000円(税込)

<http://sotodan-npo.org/blog/archives/2009/11/dvd.html>

■11月14日(金)第二十一回関西セミナー(関西支部)

関西支部は環境省地球温暖化対策地域協議会KANSAIえこねっと「省の会」と共催、日本建築家協会近畿支部、大阪府建築士会近畿支部、大阪府建築士事務所協会の後援で第二十一回関西セミナーを開催した。

最初に「住まいの健康安全性と断熱-今後の省エネ化の行方」と題して近畿大学教授岩前篤氏が温度と健康障害の相関、世界の健康住宅断熱の温度調節、機能省エネルギー手法の流れ、今後の断熱など住まいの省エネについて講演された。つづいて、「国内外の外断熱情報と海外の外断熱火災事故」と題してNPO法人 外断熱推進会議理事改正総一郎氏が最近専門誌市場で話題になっている外断熱工事現場の火災、国内外の外断熱採用事例と火災事故例について紹介があった。3番目に「高性能断熱材フェノールフォームについて」と題して積水化学工業(株) 建材事業部 課長豊田兼昭氏がフェノールフォームの特徴と使用方法について講義された。参加者は38名で成果の多いセミナーであった。

■ 11月20日(金)ホームタウン南大沢外断熱改修現場見学会

当法人が外断熱工事の設計・積算・監理を行っている、八王子市南大沢4-21他のホームタウン南大沢-4(中層)団地の外断熱改修現場見学会について、ホームタウン南大沢-4(中層団地)管理組合ならびに、施工会社TOHO(株)のご理解ご協力のもと、現場見学会が開催された。分譲マンションの外断熱改修事例としては日本最大規模の外断熱改修現場です。外断熱推進会議 堀内事務局長の挨拶後、ホームタウン南大沢の改修についてホームタウン南大沢住環境委員会委員長横山美樹雄氏が説明された。14時30分から現場見学会が開催された。

◇工事名称: ホームタウン南大沢-4(中層)団地2009年度第2回外壁大規模修繕工事

工事概要: 事業名: ホームタウン南大沢団地丸ごと外断熱改修

この改修工事は、平成20年12月の国土交通省『既存住宅建築物省エネ改修緊急促進事業』の補助事業として採択され、平成21年9月着工、平成22年1月末竣工

工事内容: 外壁及び床下と開口部の断熱改修及び第2回外壁大規模修繕工事

建物概要: 規模: 全10棟146世帯延べ面積: 13,053.81 m²

構造: RC造1号棟5号棟(3階建て)24戸/PC造2・3・4・6号棟(4階建て)56戸

PC造7~10号棟(3階、5階建)66戸



■ 11月25日(水)断熱建築制度政策委員会役員会

今後の進め方について打ち合わせを行った。席上10月19日(月)制度政策委員会の議事録を確認したあと、11社から提供願った技術資料についてその資料名と要旨について説明した。堀内事務局長からはよりできれば国会会期中に新政権発の議連を開催しここで①ホームタウン南大沢の外断熱改修事例②(株)紅梅組 本社ビルの外断熱改修事例③寒冷地からの外断熱の標準化の3つの報告をしたらどうかとの提案がされた。

■ 11月27日(金)北海道支部会議とセミナー(北海道支部)

北海道支部では、11月27日に長野県在住のエネルギーコンサルタントのクーラー アンドレアさんを招き、「エネルギーパスとパッシブハウス」をテーマにセミナーを開催した。開催に先立ち、札幌市役所を表敬訪問し、上田市長に外断熱推進について協力を求めました。札幌市では、市の「新築建物は全て外断熱としている」とのことで、2004年に札幌で開催された外断熱推進会議主催・日独セミナー「サステナブル・ジャパン～地球環境と私たちの生活」のパネリストとして上田市長が発言したことが現実となっています。



■12月4日(金)第24 外断熱技術セミナー

「蒸暑期にも有効なパッシブハウスに関する技術開発」の紹介セミナー及び「さいたまパッシブハウス15 完成現場見学会」がハイシマ工業株式会社の協賛で開催された。パッシブハウス15は産学連携プロジェクト研究を実施する実験棟で、このプロジェクトは、PCM部材や可変透湿気密メンブレンを木質系超高断熱外皮に組み込み、顕熱交換換気システムと組み合わせ、数値・実験両面から建物の熱・湿気性能を調整し、冷暖房・除湿負荷が最小で平準化する組み合わせを探り出すことを目的としています。実験棟竣工の機会を捉えて、本プロジェクト研究の位置付けと概要を披露するとともに、実験棟を見学した。セミナー内容は(第一部)「蒸暑期にも有効なパッシブハウスに関する技術開発」紹介セミナー、非営利活動法人 外断熱推進会議事務局長 堀内正純 挨拶、さいたまパッシブハウス15 事業主 ハイシマ工業(株) 代表取締役 舘島一弘氏、講演は「蒸暑期にも有効な超高断熱・高気密住宅(パッシブハウス)に関する技術開発」について 京都工芸繊維大学大学院 准教授 芝池英樹氏、パッシブハウスにおける蓄熱空調の有効性について神戸大学 准教授 竹林英樹氏が講演された。セミナー終了後(第二部)として「さいたまパッシブハウス15」完成現場見学会が実施された。



■12月22日(火)ホームタウン南大沢外断熱改修現場視察見学会

当法人が外断熱工事の設計・積算・監理を行っている、八王子市南大沢4-21他のホームタウン南大沢-4(中層)団地の外断熱改修現場見学会について、ホームタウン南大沢-4(中層団地)管理組合ならびに、施工会社TOHO(株)のご理解ご協力のもと、現場見学会が開催された。



◆「マンション外断熱改修見学会」DVD販売中!

- 外断熱推進会議会員価格 3,000円(税込)
- 一般(非会員)価格 5,000円(税込)



■12月24日(水) 田中辰明先生を囲む「NPO意見交換会」

一年の最後、12月24日(水)クリスマスイヴの夜に当法人副理事長(お茶の水女子大学名誉教授)を囲んで、今年一年を振り返る「NPO意見交換会」が開催されました。ご多忙な中、中村哲治法務大臣政務官など21名が集まりました。

■外断熱推進会議 書籍・DVD 販売案内

□1. 『これからの外断熱住宅』 特定非営利活動法人 外断熱推進会議 推薦図書



お茶の水女子大学名誉教授 工学博士 田中辰明／
お茶の水女子大学 博士(生活科学) 柚本玲 著
発行 (株)工文社 定価 2,415円(税込) 送料 290円(冊)
書籍コード ISBN 978-4-905975-33-7 体裁 B5判・116頁
外断熱研究の第一人者が新進学者と共に放つ外断熱住宅の入門者

□2. 『外断熱から始まるマンション選び!』 特定非営利活動法人 外断熱推進会議 推薦図書



外断熱推進会議事務局長 堀内正純著
発行 現代書林 定価 1,680円(税込) 送料 290円(冊)
書籍コード ISBN4-7745-0615-X 体裁 四六版上製・240頁
外断熱工法の、過去・現在・未来について、具体的な事例や理論的解説を加えて紹介しています。この一冊から外断熱が見えてきます。

【外断熱クラシック】

外断熱の歴史を語る書籍～特別価格で提供いたします。在庫がなくなりましたらご容赦ください。

□3. 『日本のマンションにひそむ史上最大のミステーク』 赤池学・江本央・金谷年展 共著



発行 阪急コミュニケーションズ
定価 1,680円(税込) 特価 1,000円(税込) 送料 290円(冊)
書籍コード ISBN978-484-99208-2 体裁 四六版上製・255頁

□4. 究極のわが家『100年マンションの誕生』 江本央 著



発行 東洋経済新報社
定価 1,680円(税込) 特価 1,000円(税込) 送料 290円(冊)
書籍コード ISBN978-484-99208-2 体裁 四六版上製・240頁

□5. 『外断熱は日本のマンションをどこまで変えるか』 山岡淳一郎 著



発行 日本実業出版社
定価 1,575円(税込) 特価 1,000円(税込) 送料 290円(冊)
書籍コード ISBN4-534-03493-8 体裁 四六版上製・303頁

□6. Ist-magazine 「欧州の共同住宅再生と外断熱」(2004年3月) 山岡淳一郎 編・著



発行 ist編集室
定価 800円(税込) 特価 300円(税込) 送料 180円(冊)
体裁 A4 版 33 頁
2003年10月 NPO 外断熱推進会議 欧州団地再生と外断熱調査報告

□7. あなたのマンションが廃墟になる日 山岡淳一郎 著



発行 草思社

定価 1,890円(税込) 特価 1,000円(税込) 送料 290円(冊)

書籍コード ISBN4-7942-1229-2 体裁 四六版上製・287頁

□8. 地球にやさしい家に住もう 山岡淳一郎 著



発行 朝日新聞社

定価 1,470円(税込) 特価 1,000円(税込) 送料 290円(冊)

書籍コード ISBN978-4-02-250437-1C0036 体裁 四六版上製・239頁

□9. エネルギーパスとは～ ハンス・ディーター・ヘグナー著 クーラー アンドレア訳



発行 特定非営利活動法人 外断熱推進会議 刊

定価 2,100円(税込) A5判 112頁

【DVD 販売】

□10. 「第二十三回外断熱技術セミナー」世界と日本の外断熱はどこまできたか・・・ DVD

□外断熱推進会議会員価格 3,000円(税込)

□一般(非会員)価格 5,000円(税込)

http://sotodan-npo.org/blog/archives/2009/08/post_273.html

□11. セミナー「地球環境と外断熱」DVD

□外断熱推進会議会員価格 3,000円(税込)

□一般(非会員)価格 5,000円(税込)

<http://sotodan-npo.org/blog/archives/2009/11/dvd.html>

□12. マンション外断熱現場見学会 DVD

□外断熱推進会議会員価格 3,000円(税込)

□一般(非会員)価格 5,000円(税込)

□13. 2010年 新春特別講演会・新年互礼会 DVD

□外断熱推進会議会員価格 3,000円(税込)

□一般(非会員)価格 5,000円(税込)

http://sotodan-npo.org/blog/archives/2010/02/post_291.html



■購入申込書(FAX 03-3436-0678)

特定非営利活動法人 外断熱推進会議では、外断熱に関する書籍及びセミナー等の DVD 販売を行っています。
購入希望者は、購入申込書に希望書籍名・DVD 名、冊(本)数をご記入の上、FAXにてお申込み下さい。

	書 籍 名	販売価格 (税込)	冊 (本) 数	合計金額
1	これからの外断熱住宅	定価 2,415 円		
2	外断熱から始まるマンション選び!	定価 1,680 円		
3	日本のマンションにひそむ史上最大のミステーク	特価 1,000 円		
4	究極のわが家100年マンションの誕生	特価 1,000 円		
5	外断熱は日本のマンションをどこまで変えるか	特価 1,000 円		
6	「欧州の共同住宅再生と外断熱」(2004 年 3 月)	特価 300 円		
7	あなたのマンションが廃墟になる日	特価 1,000 円		
8	地球にやさしい家に住もう	特価 1,000 円		
9	エネルギーパスとは～	定価 2,100 円		
10	第二十三回外断熱技術セミナー DVD	3,000 円/5,000 円		
11	セミナー「地球環境と外断熱」 DVD	3,000 円/5,000 円		
12	マンション外断熱現場見学会 DVD	3,000 円/5,000 円		
13	2010 年 新春特別講演会・新年互礼会 DVD	3,000 円/5,000 円		
		合計		

*ご購入希望書籍の冊(本)数欄に購入希望冊(本)数をご記入ください(合計金額欄は空白可)。

*DVD 価格については、外断熱推進会議会員価格 3,000 円(税込)と一般(非会員)価格 5,000 円(税込)となります。

*合計金額及び郵送料はこちらで計算し、請求書を送付いたします。

購入希望者は、購入申込書に希望書籍名、希望 DVD について、冊(本)数をご記入の上、FAX(03-3436-0678)にてお申込み下さい。書籍については在庫を確認後、DVD については在庫がない場合は製作の上、冊子小包“ゆうメール”又はヤマト運輸“メール便”にてお送りいたします。

銀行振込口座：みずほ銀行 神谷町支店 店番号146 口座番号(普) 8080210

特定非営利活動法人 外断熱推進会議

*振込み手数料はご負担願います。

お名前 ^{必須}		勤務先	
送付先住所 ^{必須} (自宅・勤務先)	〒 ー		
お電話番号 ^{必須}		FAX 番号 ^{必須}	
メールアドレス			

FAX 送付先：特定非営利活動法人 外断熱推進会議 **03-3436-0678**